

教育セッション：契約 研究連携・外部資金導入に関する契約の基礎知識

8月30日（水） 11:00-12:30 会場H（3階）

RA協議会スキルプログラム専門委員会が実施する、初級（着任直後から3年程度）のリサーチ・アドミニストレーター（以下「URA」という）を対象とした教育セッションです。URAが研究支援活動を行う上で、知っておくべき研究連携・外部資金導入に関する契約の基礎知識を俯瞰的に解説します。本セッションは座学（いわゆるセミナー形式）で行われます。

URAの業務は非常に多岐にわたっており、さまざまな場面で契約の知識が求められます。研究戦略推進支援業務、プレアワード業務、ポストアワード業務のいずれも、大学の各事務組織、知的財産担当者、TLOメンバー等との関わりがあるので、URAが契約の知識を習得することは、研究支援業務を組織的に推進する上にも極めて重要です。

さらに、URAにとって、プロジェクトマネジメントの役割が重要です。大型研究プロジェクトの実施体制構築や、それによる大型研究資金の獲得には、大学内外（研究者、政府、自治体、民間企業など）の多数のステークホルダーを巻き込んで一体的に推進することが必要不可欠です。そのマネジメントを遂行する上に、契約知識に基づいたあらゆる判断が常に求められ、正しい判断がプロジェクトの成功につながると言えるでしょう。

本セッションでは、契約の基礎から始めて、URAとしての契約（契約担当者）に対するスタンスを考えるとともに、URAの研究支援業務に関係する様々な契約を俯瞰的に見ていきたいと思えます。また、NDA（秘密保持契約 Non-disclosure agreement）については、サンプルをもとにした逐条解説を行います。これらの基礎知識を広く理解することを通して、研究連携・外部資金導入等のURAの研究支援業務がより効率的、円滑に行われることが期待されます。

直前にプレアワード業務の教育セッションが予定されています。関連はありますが、それぞれは独立した内容ですので、単独での受講が可能です。事前申し込みは不要です。

オーガナイザー

王 鴻香：長崎大学 研究推進戦略本部 主任URA

北京大学大学院化学系修了。理学博士。2014年4月にURAへ転身するまでの20年以上、大学、研究所や企業で、吸着技術を利用した化学装置の開発、新規無機吸着剤の合成の研究に20年以上携わりました。現在は、外部資金獲得支援、研究力分析、若手研究者支援に奮闘中。

司会者

上釜 奈緒子 : 長崎大学 研究推進戦略本部 URA

2007年 兵庫県立大院 生命理学研究科 博士後期課程修了。理学博士。自然科学研究機構（分子研）にて研究職、名古屋市立大にて産学官連携等の職に従事、2016年より現職。2016年度 JST目利き人材育成プログラム 研究推進マネジメントコースにてグループ討論講師を担当。
産学官連携・研究リスクマネジメント管理の業務経験を生かしつつ、現職の研究・プレアワード系のURAとして活躍できるよう研鑽中です。

河合 孝尚 : 長崎大学 研究国際部 コーディネーター

2008年に静岡大学大学院理工学研究科で博士号（情報学）を取得し、修了後は静岡大学知的財産本部にて産学官連携拠点形成に係る業務や安全保障輸出管理業務に従事した。
その後、九州大学研究戦略企画室URAを経て現在の長崎大学研究国際部のコーディネーターに至る。
現在の主な業務として安全保障輸出管理、ABS対策、軍事研究対策、研究倫理教育管理に携わっており、科学者倫理に関する心理学的研究も行っている。

講演者

天神 雄策 : 株式会社東京大学TLO 取締役／東京大学



1988年 九州大学法学部卒。民間企業にて、法務、知的財産、産学技術移転に従事。2005年4月 東京大学TLO入社。ライセンスアソシエイトとして技術移転業務を行うとともに、年間400件を超える東京大学のライセンス契約、オプション契約、MTA、共同出願契約等を担当。2007年より、大学技術移転協議会主催 ライセンスアソシエイト研修 契約交渉Ⅰ～Ⅲ 講師。2014年RTTP登録。